

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年3月26日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年3月26日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【車両除染場・排水処理建屋の鍵の紛失について】</p> <p>当社社員が、資機材を保管している車両除染場・排水処理建屋へ予備資機材を保管後、入退域管理棟で退域手続きを行った際、車両除染場・排水処理建屋の扉の鍵を紛失していることを確認。</p> <p>現在は、別鍵で運用しているので問題なし。</p> <p>今後、再発防止対策を検討する。</p>	GⅢ	3月19日
2	<p>【5号機使用済燃料プール冷却浄化系残留熱除去系出口連絡配管ブロー二次弁のシート漏えい※について】</p> <p>当社社員が、5号機使用済燃料プール冷却浄化系残留熱除去系の弁点検終了後の水張りの際、点検対象外の使用済燃料プール冷却浄化系残留熱除去系出口連絡配管ブロー二次弁にシート漏えいを確認。</p> <p>出口連絡配管ブロー一次弁を全閉に操作してシート漏えいが止まったことを確認。(出口連絡配管ブロー一次弁は点検対象。)</p> <p>今後、点検修理予定。</p> <p>※ シート漏えい:弁内部の隙間から配管内部に漏えいすること。</p>	GⅢ	3月22日
3	<p>【建屋周辺水位監視システムの水処理演算処理装置2のハードディスク故障について】</p> <p>当社社員が、建屋周辺水位監視システムの水処理演算処理装置2において、異常が検出されたため、現場調査を実施したところ、ハードディスク2の故障を確認。</p> <p>故障したハードディスクは、演算処理装置に2台設置されている内の1台であること、演算処理装置は多重化されていることから、故障による影響はない。</p> <p>今後、当該ハードディスクを交換予定。</p>	GⅢ	3月24日
4	<p>【大型機器除染設備ミストセパレータオートドレン弁の破損について】</p> <p>警備員より、大型機器メンテナンス建屋南側で空気が漏れている音がすると連絡があり、協力企業作業員が現場を確認したところ、屋外に設置してある空気タンク付属のミストセパレータオートドレン弁4台中1台に破損を確認。</p> <p>当社社員が、当該オートドレン弁上部止め弁の閉操作を実施し、空気漏れの停止を確認。</p> <p>他の3基のセパレータで、系統の運転に支障なし。</p> <p>原因は、強風による飛来物があたって損傷した可能性があると推定。</p> <p>今後、当該オートドレン弁を交換予定。</p>	GⅢ	3月22日